

第3回 JEF-KRA

グローバルリスク・シンポジウム

～Brexit、北朝鮮・イラン情勢の行方と、解決策の糸口となる
環インド洋・太平洋経済圏の重要性～

2019年9月19日(木)13:30～17:30

13:00～ 受付開始

国際文化会館（岩崎小彌太記念ホール）

国際経済交流財団(JEF)とKomatsu Research & Advisory(KRA)は、急変する国際情勢について俯瞰的かつ複眼的な視点から分析すべくグローバルリスク・シンポジウムを開催致します。第3回目となる今回も各分野に傑出した4名の専門家をお迎えします。

第1セッションでは、緊迫する米・イラン情勢を踏まえ、北朝鮮やイランの核不拡散問題を米国と韓国の2つの視点からご紹介します。

第2セッションでは、英国と欧州の2つの視点から、Brexitと今後の日英関係の展望、そして、地政学・軍事面で注目され始めている環インド洋・太平洋戦略の本質的な重要性についてご紹介します。それぞれのセッションには会場からの質問にもお答えする会場参加型のQ&Aコーナーがあります。

【プログラム】 (敬称略)

13:30～13:35 開会挨拶：国際経済交流財団会長 日下 一正

13:35～13:45 来賓挨拶：英国市場協議会 会長 朝田照男

13:45～14:00 モデレーター：Komatsu Research & Advisory 代表 小松 啓一郎

14:00～15:30 セッション1

「北朝鮮とイランに対する米国の政策の違い」

Mr. Mark Fitzpatrick (マーク・フィッツパトリック)

元米国国務省、英国国際戦略研究所(IISS) アソシエイト・フェロー

「経済制裁と北朝鮮経済」

Dr. Dong Yong Sueng (トン・ヨンスン)

元韓国大統領政策委員

Q&A

15:30～15:50 コーヒーブレイク

15:50～17:20 セッション2

「Brexit後の日英関係」

Sir David Wright (デイビッド・ライト卿)

元駐日英国全権大使、元英国海外貿易総省事務次官

SMBCグループ・グローバル・アドバイザー

「EUとインド洋・太平洋—困難な政治力学の中での舵取り」

Dr. Eva Pejsova (エヴァ・ペショヴァ)

欧州安全保障研究所(EUISS) シニア・アナリスト

Q&A

17:20～17:30 閉会挨拶：国際経済交流財団会長 日下 一正

【費用】 無料

【言語】 日本語・英語

【定員】 100名

(定員に達し次第締め切りとさせていただきます。)

【お申込み】 こちらの URL (日本語:<https://www.jef.or.jp/grsymposium/web/ja/>) から申込みをお願い致します。

【お問合せ】 ☎03-6263-2517 一般財団法人 国際経済交流財団

主催：国際経済交流財団・Komatsu Research & Advisory
後援・協力／JETRO・国際文化会館